



発行 2010年 11月 5日

社団法人 千葉県鍼灸マッサージ師会 会報

★本年度のスローガンは

皆で創ろう、健康長寿。
皆で築こう豊かな未来。
皆で広げよう仲間の輪。

H22 秋
会報通算 46号



発行所 〒263-0021 千葉県千葉市稲毛区轟町 4-6-23 グランドメゾンとどろき
TEL 043-290-7538 FAX 043-290-7539 <http://www.zensin.or.jp/~chiba/>
発行者 社団法人 千葉県鍼灸マッサージ師会
発行人（会長） 越川和夫
編集人（広報部長） 酒井茂一

第9回東洋療法推進 in 石川 報告	P2
上中・平岩・藤林・長田	P3~7
地域ニュース	P8
理事会議題	P9
みんなの声 北~南	P10
編集後記	P10

表紙の写真は奥多摩の三頭山からのものです。2010年10月10日だから「ミトウ」という語呂合わせの記念登山でしたが、朝から雨に降られ登山道は川が流れるようだろうと予測しておりましたが、運よく天候が回復し、頂上付近では一瞬青い空も見えていました。

ツアーで行ったのですが、バスの車内を後ろの席から眺めると頭が薄くなっていたり白くなっていたりという中高年がほとんどでした。最近流行りの山ガールも何人かいましたが、ほとんどが年寄り。これも健康志向の一つかな？と思います。山の上り下りで筋肉貯金をたっぷり貯えた元気な老人達でした。

第9回 東洋療法推進大会 in 石川

第9回 東洋療法推進大会 in 石川
「みんなで創ろう
地域に根ざした鍼灸マッサージ」

会 期 2010年9月19日(日)12:00 ~ 20日(月)12:30

会 場 金沢エクセルホテル東急
石川県金沢市香林坊 2-1-1 TEL076-231-2411

主 催 社団法人 全日本鍼灸マッサージ師会

共 催 社団法人 石川県鍼灸マッサージ師会

後援予定 厚生労働省／石川県／金沢市／石川県医師会／金沢市医師会／
(財)東洋療法研修試験財団／あはき等法推進協議会加盟各団体／
マスコミ各社／その他関係各団体

有名な金沢兼六園のすぐわきの香林坊にあるホテルで盛大に第9回東洋療法推進大会が開催されましたので参加された先生方にレポートをしていただきました。

【報告】鍼灸部長 上中三二

県民公開講座シンポジウム

「がん医療における東洋医学の現状と展望」を聞いて



「現代がん医療の進歩と東洋医学の役割」

金沢医科大学腫瘍内科学・集学的がん治療センター長 元雄良治教授

元雄良治教授は、がん医療は近年大きく進歩し、診断機器の発達、治療薬の開発・承認、体にやさしい手術や放射線療法の開発などにより、早期発見例が増え、治療成績が向上している。薬物療法では新規抗がん剤や分子標的薬、さらには新規制吐剤の国内承認が続き、効果が期待できる治療法を安全に受けられる時代となった。

そしてこれら種々の治療法を最適に組み合わせる「集学的治療」が求められていると主張されるとともに、漢方薬は保険診療で医師の7割～8割が使った経験を持

ち、医学教育にも取り入れられている。漢方薬はがん細胞への直接的効果は少ないが、生体の諸機能回復・栄養状態改善・免疫賦活化などの効果が期待できる。

漢方薬の併用は、全身状態の良好保持、副作用の軽減、生存期間の延長、緩和ケアに効果がある、と講演された。とりわけ、鍼灸マッサージ師である私に印象的であったのは、がん医療にも東洋医学的概念（自己治癒力・生体防御能力の向上など）を取り入れることが重要になる、と強調されたことである。

「がんと統合医療」—鍼灸治療の現状と可能性— （社）全日本鍼灸学会 小川卓良副会長

小川卓良副会長は、確かにがんに対する西洋医学的治療はかなりの発展を遂げている。しかしながら、がんの発症あるいはがん死は顕著に減少しているわけではない。一部のがんで若干の減少が見られるだけである。

それも医学の進歩によるものもあるだろうが、国民の意識の高まりによる予防や生活習慣の改善も見逃せない。

また、内外の有識者により西洋医学の三大療法（手術・抗がん剤・放射線療法）に対する批判も以前より厳しくあることも事実である。

このような現状の中で（社）全日本鍼灸学会では数年前からがんに対する鍼灸治療について学術大会でシンポジウムを開くなどしてがんに対する鍼灸治療の有効性を検討してきた。

その結果、末期がんの苦痛緩和、抗がん剤や放射線療法の副作用の軽減、QOLの向上、術後の再発予防などに鍼灸治療の可能性があると力説され、鍼灸治療の現状と可能性について講演された。

「がん医療に対するはり・きゅう治療の役割」—副作用を和らげる効果— 明治国際医療大学臨床鍼灸学教室 福田文彦准教授

福田文彦准教授は、アメリカやイギリスでは、がん患者さんに対する鍼灸治療のガイドラインがある。それによると、がんの痛み、抗がん剤や手術の麻酔による悪心や嘔吐（1A:強く勧められる・質の高い科学的根拠あり）、放射線療法に伴う口内乾燥症、ホルモン療法に伴う血管運動症状（1B:強く勧められる・質の中等度の科学的根拠あり）などを紹介され、我々は化学療法に伴う末梢神経障害（痛みを伴うしびれ感）に対しての鍼灸治療の効果を検討していると報告された。その上で、

がんの治療は身体的にも精神的にも苦痛であり患者さんのQOLを低下させる。鍼灸治療によって、がん治療に伴う副作用を緩和することができれば、患者さんのQOLは高まるとともに必要な治療を継続することも可能になると結論された。

※注）1. 分子標的薬は、がん細胞の持つ特異的な性質を分子レベルでとらえ、それを標的として効率よく作用するようにつくられた薬。がん細胞を狙って作用するため、副作用をより少なく抑えながら治療効果を高めると期待されている。2. 新規制吐剤は、抗がん剤治療に起因する嘔気・嘔吐に対する新規制剤。

「鍼灸のグローバル化とその条件」報告

森ノ宮医療大学保健医療学部鍼灸学科長 山下仁教授

山下仁教授は、鍼灸はすでにグローバル化している。グローバル化した鍼灸は、その有効性、安全性、費用対効果について、グローバル化した科学的評価方法で厳しく検証されるようになり、そこにエビデンスの提示を求められるの必然であると警鐘を鳴らすと同時に、物理療法であり患者コミュニケーションと一体化している鍼灸を臨床試験で評価することの限界を指摘された。

しかし、グローバル化した以上、鍼灸が現代医学的評価の俎上に載ることは避けられない。であるならば、鍼灸界の内側にいる我々もエビデンスに基づく医療（EBM）について深く考え、技や伝統といったアートの側面を引き継ぐことはもちろん重要だが、同時にグローバル化の中で生き残るためのサイエンスの側面を兼ね備える姿勢が要求されると結論づけられた。

【報告】財務部長 平岩恵子

「温泉と鍼・灸・マッサージで健康づくり」～温泉に入ると病気になりにくい～

札幌国際大学観光学部教授 松田忠徳

本当の温泉とは源泉かけ流しであり、それが自然治癒力を高め、ひいては自己免疫力を高めて病気を予防してくれる。現在、循環させて塩素で殺菌という温泉が多く、入ると塩素の臭いがするのでわかる。それは返ってアトピーの原因の一つとも言われている。

温泉療法は対処療法を得意とする西洋医学にとって難しい「健康な心身づくり」が可能であると言える。ヨーロッパやモンゴルでは温泉療法に健康保険が使える。

温泉は病を治す処と考えられている。現に朝青龍もけがや病になる度にモンゴルの温泉で治している。日本でも来年4月から大分県竹田市で温泉療法支援が始まる予定である。

温泉での注意点はせつかく温めた身体に冷たいものは飲まないこと。温かいもの、常温のものを飲むことが健康向上の秘訣だ。

人間の体は温めれば免疫力が増すから。

この講演を聴き温泉の選び方、利用の仕方等温泉に対する考え方が一新し、とても参考になりました。

「鍼灸マッサージ医学を築いた石川県の研究者達」**●松井 繁 元石川県立盲学校高等部主事**

石川県には鍼灸マッサージについて研究し貢献した人が少なくないということです。今回は下記の三人(視覚障害者)について業績の概略を講義していただきました。奥村三策(1864~1912)鍼灸按腹を学んだ後、金沢医学校で洋法医学を学ぶ。その後、楽善会訓盲啞院の教員となる。

功績

- 1 視覚障害者への鍼治教育の復活
- 2 ドイツより書を取り寄せ、マッサージ教育開始
- 3 科学的専門書の編纂
- 4 三浦僅之助の家兔による鍼研究の実技担当

●三谷復二郎 (1893~1987)東京盲学校師範科卒業後金沢病院勤務。日盲連設立に参加し、初代理事職業部長となる。

功績

- 1 「三療」を提唱(鍼灸マッサージにあらゆる手当を組み合わせたもの)
- 2 月刊誌「健康と三療」発行 点字著書多数
- 3 卒後教育に力を入れた

●影山儀之助 (1899~1982)島根県生まれ。東京盲学校師範科卒

功績

- 1 施鍼が人血液に及ぼす影響の研究
- 2 人体内における折鍼のX線像の研究
- 3 兼六鍼灸医学研究会を立ち上げて、臨床研修を行った。

これら素晴らしいお三方の業績のお話に深く感銘しました。



地域医療「アーサティブ・コミュニケーションについて」

金沢の鍼灸マッサージ全国大会に参加しての感想という事で感慨深い分科会の話をしていただきます。

特別講演の中で金沢医科大学地域医療学部門教授の神田享勉先生のお話のアーサティブ・コミュニケーションを拝聴しました。

蝶ネクタイを締め軽快な口調で話され、我々鍼灸治療家が考えていかなければならない点が多く見られました。アーサティブとは聞きなれない言葉で日本語に訳しにくいそうです。

基本理念は互いを尊重する事。尊重表現という事だそうです。

最初に質問でネアンデルタール人は何故絶滅したか？と問われて三者択一の問題を出しました。

1. 体力が無かったから 2. 会話がなかったから 3. 忍耐力が無かったから
正解は2番でした。

ネアンデルタール人は顎が発達してなく会話が十分に取れていなかったそうです。なぜ会話が大切かという事を色々な事例を出して面白く説明をされていきました。

現代社会が抱える問題うつや自殺が現代社会のメンタル・クライシスとして取り上げられているのは何故か説明をされました。

個人の欲求が増大し、幸福の条件が難しくなっており、社会に対する信頼もゆらいできているのが一つの要因でもあります。

自己嫌悪からうつや自殺に結びついてくるのも現代社会が抱える歪みだそうです。

不登校の問題も父親が仕事を理由に問題から逃げてしまう。そして妻の献身によりかかっていく。子供は自己の統制力を失って行くと言う構図が見られるそうです。今は不登校と引きこもりを入れると40万人いるそうです。

最後に治療院への診察7か条を教えてくださいました。

1. 最高の癒してになってください。
2. わかりやすい説明をして下さい。
3. 清潔な身だしなみで、品位を保ちませんか。
4. 相手の身体や習慣を批判しないで下さい。
5. 時間を守り、信頼を積み重ねてください。
6. 人間痛になりましょう。
7. 寛容なところを持ちましょう。

まだまだ内容はもっと濃いのですが紙面上は限界がありますが、我々治療家が治療院で行っていく上での大事な問題点を指摘してくれました。

ちなみに先生は新しい卒業したての医師の教育にもアーサティブ・コミュニケーションを取り入れているそうです。

「東洋医学川柳」に参加して

国民の皆様に私たちの業でもある鍼灸・按摩マッサージ指圧療法の理解と認識、普及活動を馴染みのある川柳で広げようと今年から分科会に仲間入りした「東洋医学川柳」に参加させていただきました。

全国から、クスッと笑える作品や確かな…と思わされる作品など多数の川柳が送られてきており時折笑い声が上がるほのぼのとした時間でした。

最優秀作品、優秀作品はどちらも「そう来たか!!」と思わせる作品でした。

最優秀作品 大人げない 上司に効くかも 小児鍼
 優秀作品 やいと好き 背中に広がる 天の川
 優秀作品 美人妻 灸の煙で 虫つかず

この他にも 300 を超える作品の数々には惜しくも最終選考にもれてしまったが素敵な、また考えさせられる作品も多数ありました。いくつかあげさせていただきます。

無資格無免許問題に関する作品

無資格を 法治国家が 放置する
 無資格と あらそう前に 腕磨け
 学ばずに あぐらかいてる 免許証

美容・瘦身鍼に関する作品

鍼灸で しわや脂肪の 鬼退治
 メタボ腹 これにも効くかと 鍼を打つ
 あんた誰? 美顔鍼した 妻の顔

千葉県からは1作品も出ていなかったのが残念でしたが年間を通して募集しているとのことなので来年の分科会に向けて応募してみようかと思った分科会でした。

もし、腕に自信のある方は是非応募してみてもはいかがでしょうか？

「無資格無免許対策 総ざらい」

～ひとりひとりが対策委員～に参加して

今までの活動を見つめなおし、これからの無資格無免許対策の方向性を見定めようというテーマの法制局分科会に参加してきました。

【「資格」と「免許」の違いとは何か?】という根本的なところの確認から始まり、【我々が果たすべき責務とは何か?】【無資格無免許対策活動の総ざらい】【これからの無資格無免許対策はどうあるべきか?】を小テーマに濃密な時間を過ごしてきました。

10月31日 理事会議題

総務部長 米井昭夫

- 議題1 無免許対策について
富森先生より現況報告と提案
- 議題2 公益法人について
- 議題3 協同組合について
22日の県との相談会を踏まえて協議
- 議題4 定率会費改正について
23年10月より定率会費を4%とする方向で協議。
- 議題5 関ブロについて
報告と協議…助成額等について
- 議題6 国体総括
- 議題7 各部より報告・協議
- 議題8 保険ソフトについて…報告
- 議題9 事業のあり方についての確認
研修会等において事務職員を極力使用しないように配慮する具体策について協議
- 議題10 政治連盟との関係についての確認
- 議題11 その他

以上のことが話し合われます。
結果は後ほどご報告申し上げます。

みんなの声 — 北 ~ 南

事務局へ寄せられたご質問等に対する回答です。

大規模事業者が訪問マッサージ等に進出しており関係者に理解を得る必要がある。
ケアマネ等への説明資料を県師会で用意いただきたい。

矢島常務理事を中心に有益な資料の提供を準備しております。
今後も様々な展開が必要になってくるものと予想されますが、会員諸先生方を最大限支援したいと思えます。(会長 越川)

視覚障害があると往診する足の確保が困難です。人に頼めんでも謝礼が必要ですし、タクシーにいたっては往療料以上になってしまい事業として実施困難です。
又、一人で往療すると患者さんの家がわかりません。
県師会で視覚障害者の往療支援を考えていただきたい。

当会では、視覚障害をお持ちの会員諸先生方の最大の支援を今後も重要な伝統として継承してまいりたいと存じます。本件も重要な課題だと思えます。ただ、業団である県師会が単独で担うには難しい問題でもあります。ですので、千葉県視覚障

害者福祉協会等関係者と連携し対応を検討していきたいと思えます。

例えば、

1. 県タクシー協会と協議し利用しやすいサービスをお願いしたり、
2. 地域（支部）単位で、市町村やボランティア団体と連携して共同運転サービスの創制をし、県師会が支援する等が考えられます。

いずれにしても、県師会単独で行うのは困難な課題ですので関係者と協議したいと思えます。現時点で、県師会単独で出来る初めの一步として国体・障害者大会の施術にご協力くださる視覚障害の先生には、支援者として当会の事務員をお付けしたいと思えます。そのような形で、出来ることから1つ1つ実践していく積み重ねの結果としてよりよい支援の方法を模索してまいりたいと思えます。（会長 越川）

最近、厚生労働省認可カイロプラクティック第〇〇〇号と表示のチラシが出回っているがどうということか??県師会で対応していただきたい。

理事会へ

編集後記

本会とも協力関係にある（社）全日本鍼灸学会関東支部学術集会が11月14日（日曜）に千葉市文化センターアートホールで開催されます。

（<http://www.jsam.jp/entry/info.html> 申込み電話 0476-24-0617 酒井）テーマは『日本鍼灸とは何か』—日本の鍼灸 今、そして未来を予測する！さて、これから何をなすべきか？— です。

「日本鍼灸へのまなざし」などの執筆で有名な鍼灸ジャーナリストの松田博公先生のご講演もあります。

尖閣諸島問題で中国があのような戦略に打って出ている状況が世界の鍼灸事情の中でも如実に現れています。今、グローバルな視点で鍼灸マッサージというものを見つめなおさなくては、日本の鍼灸、整体に取って代われようとしているマッサージは生き残れなくなる可能性があります。

正に風前の灯状態にあるのが我々の業であるということ認識している方はどの位いらっしゃるのでしょうか？

酒井